

平成30年10月30日

各 位

会社名 株式会社エムケイシステム  
 代表者名 代表取締役社長 三宅 登  
 (コード番号: 3910 東証JASDAQ スタグポート)  
 問合せ先 取締役経営企画室長 筒井 努  
 (TEL. 03-6895-3700)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成30年6月29日に公表いたしました平成31年3月期(自平成30年4月1日至平成31年3月31日)の業績予想を以下の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正

(1) 平成31年3月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	1,028	100	100	1	0.30
今回修正予想(B)	946	78	77	△11	△2.17
増減額(B-A)	△82	△21	△23	△13	
増減率(%)	△8.0	△21.7	△23.3	-	
(ご参考)前期連結実績 (平成30年3月期 第2四半期)	924	144	144	90	16.74

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 平成31年3月期通期業績予想数値の修正(自平成30年4月1日至平成31年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	2,318	431	431	211	39.05
今回修正予想(B)	2,098	216	216	75	13.95
増減額(B-A)	△219	△214	△214	△136	
増減率(%)	△9.5	△49.7	△49.8	△64.3	
(ご参考)前期連結実績 (平成30年3月期)	1,887	314	317	204	37.66

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

### (3) 修正の理由

事業毎の修正理由は以下の通りであります。

#### ① 社労夢事業（社労士等の社会保険関連業務支援等の ASP サービスを開発・提供）

補助金を活用した新規販売が想定を大きく下回り、初期設定売上、月次の ASP 売上の増加が想定を下回りました。また、8月に実施した価格改定についても、競争環境を考慮し改定範囲を当初予定より縮小いたしました。

一方、次世代システムの開発遅延により、ソフトウェア償却の開始が遅れ売上原価は想定より減少したものの、当該システムと連動する予定の新サービスの開発・発売が遅れることで、第3四半期以降に想定していた売上が一部見込めなくなりました。

(百万円)	前回通期予想	今回通期予想	差異
売上高	1,675	1,523	△151
クラウドサービス	1,583	1,427	△156
システム商品販売 他	91	96	+5
売上原価	564	537	△26
販売費及び一般管理費	652	629	△23
営業利益	458	356	△102

#### ② CuBe 事業（企業の人事総務部門の業務効率化に資するフロントシステムを開発・提供）

受託開発については、売上は想定通りとなる予定ですが、一部の大型案件で想定以上に原価が発生すると共に、開発案件の小型化により営業管理活動が増加し、想定より原価率が高くなる傾向にあります。

一方、新たに取り組んでいるクラウドサービスについては、「年末調整 CuBe クラウド」は新規顧客を獲得し第3四半期以降の売上に貢献する予定ですが、「人財 CuBe クラウド」については、新規顧客の獲得が想定を下回っており、投資の回収に時間がかかりそうです。

(百万円)	前回通期予想	今回通期予想	差異
売上高	642	575	△67
受託開発	542	542	-
クラウドサービス	100	33	△67
売上原価	354	445	+91
販売費及び一般管理費	315	268	△47
営業利益	△27	△138	△112

※事業セグメント毎の売上高、売上原価、販売費及び一般管理費の合算額と、連結業績予想の売上高、売上原価、販売費及び一般管理費の金額との差異は、セグメント間取引に起因するものです。

## 2. 配当予想について

配当予想については、前回発表の一株当たり8円の期末配当予想は変更いたしません。

当社は剰余金の配当につきましては、連結配当性向20%程度を念頭に、期末配当を継続的に実施することを基本方針としておりますが、業績予想修正の要因は一過性のものと考え、本年度は安定的な配当を優先したいと考えております。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上